



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

令和 6年 4月 1日発行

園長 伊賀 治

ご入園・ご進級おめでとうございます。



暖かな春の日差しとともに新年度がスタートいたしました。今年度も引き続き、子どもたちが1日1日成長する姿を見守っていきたいと思います。

これまで園長として4年間にわたりこども園や子どもたちのために尽力されました玉田賢一園長が退任いたしました。在任中は保護者の皆様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。つきましては、新たに園長に着任いたしました伊賀治です。どうぞよろしくお願ひいたします。本日より大切なお子様をお預かりすることとなり、身が引き締まる思いであり、大きな責任を感じております。職員で力を合わせ、安心して安全な園を目指し、また子どもたちの笑顔のために全力で取り組んでまいります。ご理解ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

なお、倉治こども園では、新たに3名の職員を迎え、新体制でスタートいたしました。引き続きよろしくお願ひいたします。

さて、子どもたちにとって幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うとても大切な時期となります。そのためにも知育・徳育・体育をバランス良く育み、「生きる力」の基礎を養っていきます。特に将来よりよく生きるための基盤となる根っこ(こころ)を大切に育てまいります。「ありがとうの感謝の心」「優しさや互いに助け合う思いやりの心」「自分のことは自分でする自立の心」の3つのこころを大切に育てまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



大谷翔平さんのように～謙虚さと感謝の心～

これまで小学生に「大谷選手のような野球選手になるのは難しいけれど、大谷さんのように、皆から応援される、愛される人になりたいですね」と話をしてきました。この素敵な人柄は小さなころから「挨拶をする、ゴミを拾う、道具を大切に使う」などを実践され、加えて謙虚さや感謝の心により魅力的な人柄が伝わってきます。家庭では「頭ごなしに叱らない」「子どもの考えを否定しない」など自己肯定感を育む家庭環境にあったそうです。野球ファンの一人として、今シーズンの活躍がますます楽しみです。

